

※申請者名：ホクレン農業協同組合連合会、品目：甘藷

1. 輸出における現状と課題

[現状]

アジアを中心に日本産甘藷を使った「焼きいも」のニーズが急激に拡大しており、北海道産甘藷需要が増加傾向にある。これら海外需要を維持・拡大していくため、生産から輸出までの各段階の課題解決に取り組んでいる。

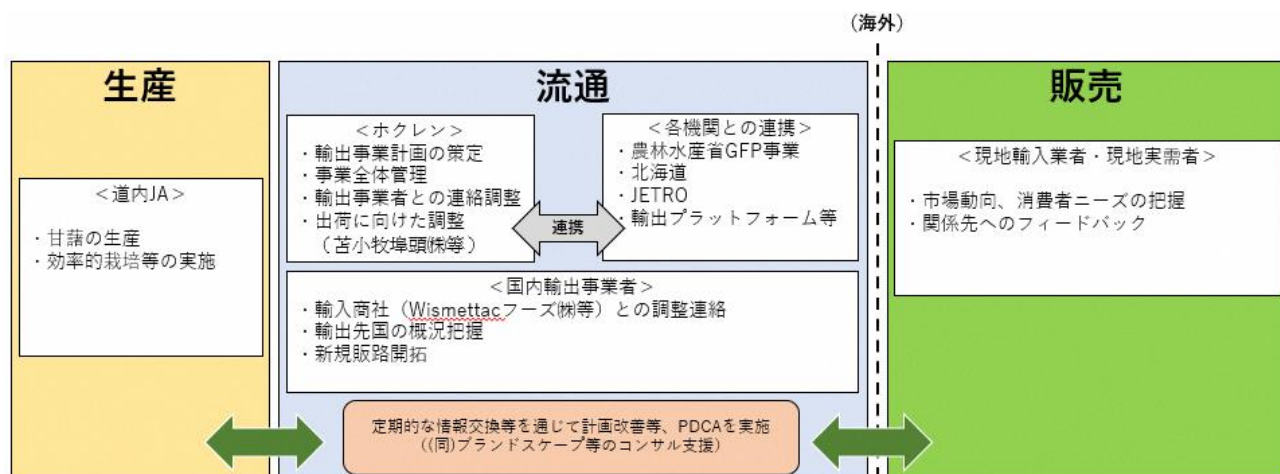
[課題]

- (1) 北海道での甘藷生産は、輸出に供するA品比率が少なく、また、貯蔵保管環境の整備による出荷期間の延長が必要。
- (2) 集荷・保管に関する資材の規格が統一等の改善が必要。
- (3) 甘藷の輸出は開始したばかりであり、海外事情と海外ネットワークが蓄積されていない。
- (4) 育成体制の不備の課題があり、良質な苗を適期に供給出来ていない。
- (5) 国内外市場に流通することが困難なC品の活用方法として加工品の開発を検討（生食で輸出できない国向けを含む）

2. 輸出事業計画の取組内容

- (1) 産地栽培指導・集荷改善・洗浄・乾燥・選果ラインの増強による輸出規格（A品）比率の向上と、貯蔵保管環境を整備し、出荷期間の延長を目指す。
- (2) 選果施設で使用する各種資機材の規格を統一し、効率化を高める。
- (3) 海外ニーズ把握とマーケットの知識習得に向けて、生産者と共に現地渡航し、渡航先の輸出先プラットフォームから、より実効性の高い輸出手法や商流、消費者志向、ブランディングに至るまで幅広く支援を受けながらその知見を蓄積する。
- (4) 育苗体制の構築による生産体制の強化
- (5) 生食用では、輸出出来ない国に向けた加工品開発、及びその検証
- (6) 令和5年度はGFPフラッグシップ輸出産地形成プロジェクト、令和6年度はGFP大規模輸出産地生産基盤強化プロジェクトに参画し、上記取組みを実施する。

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



※上記を基本として、実際の輸出先国（実需者）毎の商流に合わせた運用を図る。

※申請者名：ホクレン農業協同組合連合会、品目：甘藷

4. 輸出目標額

		現状 (令和4年度)	目標 (令和8年度)
北海道	輸出額(千円)	3,850	15,000
	輸出量 (t)	11.3	50
	輸出先国	タイ、シンガポール、香港	タイ、シンガポール、香港、 アメリカ、カナダ
	取扱量 (t)	102	750